

日本社会福祉教育学会ニュース

No.1 2006 (平成18) 年4月10日

日本社会福祉教育学会会長 宮田和明

社会福祉やソーシャルワークが「危機」を迎えている時代にあつて、社会福祉に関する実践・理論・研究・教育の改革が求められています。社会福祉の発展の展望を確かなものとするためには、社会福祉の実践や研究に携わる優れた人材を数多く育てなければなりません。しかし、これまでの社会福祉専門教育を省みると、社会福祉士制度の発足以来、資格対応のために一定の科目統一が行われてきたとはいえ、教育内容の体系性や普遍性において欠けるところがあるといわざるをえない面があり、教授法についても旧態依然たる状況を脱していないとの批判もあります。



日本社会福祉教育学会会長
日本福祉大学 宮田和明

社会福祉教育についての研究は、創立以来10年の歴史を持つ日本福祉教育・ボランティア学会をはじめ、日本社会福祉学会などの関連学会で研究成果が蓄積されており、日本社会福祉教育学校連盟・日本社会福祉士養成校協会主催の「全国社会福祉教育セミナー」をはじめとして、経験交流の機会も少なくありません。しかし、社会福祉専門教育に焦点を絞って、体系的に社会福祉教育について討議・研究する適切な場があるとはいえ、社会福祉専門教育を中心とする新たな学会の設立は急務の一つであったといえます。

このような状況の中で、黒木保博(同志社大)、白澤政和(大阪市立大)、牧野忠康(日本福祉大)、米本秀仁(北星学園大)の四氏の呼び掛けに応じて、有志十余名が発起人となり、去る2005年10月31日、文京学院大学において日本社会福祉教育学会創立総会を開催し、あわせて創立記念研究大会を開催致しました。

学会としての活動は文字通り緒についたばかりですが加入頂き、積極的に学会活、社会福祉教育に関する研究活動の発展に寄与するため、趣旨にご賛同頂ける皆様に一人でも多くご動にご参加下さるよう呼び掛けます。

日本社会福祉教育学会第1回大会 概要報告

去る2005(平成17)年10月31日(月)、記念すべき第1回大会が、文京学院大学本郷キャンパスにおいて開催されました。10月29日(土)・30日(日)に同会場にて開催された「社会福祉教育セミナー」に続いての開催であったため、平日の開催にもかかわらずセミナー参加者の一部の方も引き続き参加して下さり、周知不足にも関わらず約50名の参加者がありました。大会概要は以下の通り。なお、大会に先立ち、設立総会が開催され、規約・体制等が審議され、初代会長に宮田和明日本福祉大学学長が選出されました。

～概要～

日時：2005(平成17)年10月31日(月)

会場：文京学院大学本郷キャンパス

プログラム：

11:30～12:30 日本社会福祉教育学会設立記念講演「わが国社会福祉教育の課題と展望」

日本社会福祉教育学会会長 宮田和明

13:30~16:00 日本社会福祉教育学会設立記念シンポジウム「我が国社会福祉教育の現状と課題」

- | | | |
|-------|---------------|-----------------|
| | 司会 | 米本秀仁 (北星学園大学) |
| (発題1) | 市民福祉教育の現状と課題 | 川廷宗之 (大妻女子大学) |
| (発題2) | 小中高福祉教育の現状と課題 | 矢幅清司 (文部科学省) |
| (発題3) | 大学福祉教育の現状と課題 | 牧野忠康 (日本福祉大学) |
| (発題4) | 大学院福祉教育の現状と課題 | 太田義弘 (関西福祉科学大学) |

～内容～

記念講演において宮田会長は、社会福祉教育の大衆化と、その問題点・専門職養成教育の質の維持についてお話をされた。大学における社会福祉教育が急速に拡大し、今日3万7千名を超える総定員にまで至っている一方、18歳人口は1991年の205万人から2000年の151万人と減少中で全入時代を迎えている。また入学生の変化や教育側の問題なども合わせ混雑とした状態である。日本学術会議・福祉研連報告(2003)、福祉系学会連絡協議会報告(2005)、国家試験制度問題検討委員会報告(2006)などを手がかりに、一つは実態を踏まえた教育スタンダードの確立、もう一つはソーシャルワーカーの社会的位置付けの明確化の取り組みが必要であると提起した。

シンポジウムでは、市民・小中高・大学・大学院と福祉教育の対象別に現状報告をいただいた。川廷氏からは、国民全般の自己学習力が低下しており、その背景に大学を含めた学校教育の低下があると提起。この自己学習力の低下が

貧困や暴力など社会荒廃に繋がっていると、学習力を身に付けるためには、背景となる学校教育の教育力が問われると指摘した。矢幅氏は高等学校福祉科の経年の設置・在籍状況を説明。介護福祉士国家試験合格率を出しながらその質の高さを報告。また介護労働市場に大きな影響を及ぼすことが予想されるFTA/EPAの進捗状況等についても触れた。牧野氏は、学生の多様化と社会福祉教育の混雑から、現場実践力が高まらない専門職教育など様々な問題を抱えていると指摘し、社会福祉教育をSWOT (Strength 強み・Weakness 弱み・Opportunity 機会・Threaten 怖さ)枠組みで整理し直してみる必要を提起した。太田氏は、大学院教育は、前期83校・後期44校で3200人まで拡大しているが、教員ができることをする蛸壺教育に陥っているなど多くの課題を抱えていると指摘。この学会の会員相互交流・学校連盟との交流・社養協との交流・ソーシャルワーク実践教育法の開発などへの期待を表明した。

日本社会福祉教育学会 第2回理事会 概要

日時:2006年3月5日(日) 10:00-15:00

会場:日本社会福祉学会会議室(森山ビル西館4階会議室)

出席:宮田和明 川廷宗之 米本秀仁 牧野忠康 高橋信行 川上富雄 黒木保博 小山隆 宮城孝 中谷陽明 事務局:
君田竜一 明星智美 欠席:なし

【報告事項】

○4役会報告

○監事の決定について…… 太田義弘(関西福祉科学大学)、杉山克己(青森県立保健大学)両氏に就任依頼した

【協議事項】

○学会規約類の整備について

日本社会福祉教育学会規約、理事・監事選出規則、機関誌編集委員会規程・編集規程・投稿規程・執筆要綱、旅費規程等について審議した。

○第2回社会福祉教育研究学会全国大会について……①米本理事を大会運営委員長に実施。②早めに会員に自由演題報告の案内をし、申込は8月末までとする。

○広報について……①対外的な広報を含めた広報委員会活動とする。②第1号は紙媒体とするが、2号以降はコスト面も考慮して電子媒体を基本とする旨を第1号でアナウンスする。③4月に第1号を発行する(会費請求とあわせて)。④少なくとも年2号(大会案内と大会報告)の発行は必要であり、会費請求を行なう号は紙媒体での発行が必要。

○入会審査……今回(2006.03.05)理事会までに入会申込みのあった95名について入会を承認した。

【その他】

○次回理事会までの課題

・ホームページ作成 ・会報 ・入会申込書 ・会則規程等整理 ・口座開設

○次回以降の予定

・第3回理事会 2006年6月4日(日)10:00~15:00 (日本社会福祉学会会議室)

・第4回理事会 日本社会福祉学会(10月7日~8日の期間中に、立教大学朝霞キャンパス)

新入会員

第2回理事会(2006,3,5)におきまして、95名の入会が承認されました。この95名で学会は本格的にスタートすることになります。お名前と所属のみ掲載します。

- | | |
|-------------------------------|------------------------------------|
| 1.青山 良子(敬和学園大学人文学部共生社会学科) | 33,小山 隆(同志社大学) |
| 2,浅原 千里(日本福祉大学社会福祉実習教育研究センター) | 34,小山 宏子(九州保健福祉大学社会福祉学部) |
| 3,池田 雅子(北星学園大学社会福祉学部) | 35,佐藤 哲三(第一福祉大学) |
| 4,伊藤 優子(大阪保健福祉専門学校) | 36,佐橋 克彦(北星学園大学社会福祉学部福祉計画学科) |
| 5,伊藤 わらび(十文字学園女子大学人間福祉学科) | 37,塩村 公子(岩手県立大学社会福祉学部) |
| 6,井上 由美子(城西国際大学) | 38,芝野 松次郎(関西学院大学社会学部社会福祉学科) |
| 7,岩崎 克司(日本福祉大学社会福祉実習教育研究センター) | 39,渋谷 哲(淑徳大学総合福祉学部社会福祉学科) |
| 8,上野谷 加代子(同志社大学) | 40,志水 幸(北海道医療大学) |
| 9,後山 恵理子(田園調布学園大学) | 41,志村 健一(弘前学院大学社会福祉学部) |
| 10,鶴沼 憲晴(皇學館大学社会福祉学部) | 42,白川 充(仙台白百合女子大学) |
| 11,浦島 秀之(東京国際福祉専門学校) | 43,白澤 政和(大阪市立大学) |
| 12,大内 高雄(北星学園大学社会福祉学部) | 44,末廣 貴生子(第一福祉大学人間社会福祉学部) |
| 13,太田 義弘(関西福祉科学大学大学院社会福祉学研究科) | 45,杉山 克己(青森県立保健大学健康科学部社会福祉学科) |
| 14,大塚 保信(大阪体育大学健康福祉学部) | 46,杉山 博昭(長崎純心大学) |
| 15,大友 芳恵(北海道医療大学) | 47,鈴木 昭(新潟大学歯学部口腔生命福祉学科) |
| 16,大西 次郎(武庫川女子大学文学部心理・社会福祉学科) | 48,鈴木 智子(浦和専門学校) |
| 17,大橋 謙策(日本社会事業大学) | 49,鈴木 幸雄(北海道医療大学看護福祉学部臨床福祉学科) |
| 18,岡崎 利治(九州保健福祉大学) | 50,Sung Lai Boo(吉備国際大学大学院社会福祉学研究科) |
| 19,岡本 民夫(同志社大学) | 51,鷹野 和美(長野大学) |
| 20,柿本 誠(日本福祉大学社会福祉学部) | 52,高橋 重宏(東洋大学) |
| 21,梶原 佳子(九州保健福祉大学社会福祉学部) | 53,高橋 信行(鹿児島国際大学) |
| 22,片岡 靖子(九州保健福祉大学社会福祉学部) | 54,竹並 正宏(第一福祉大学) |
| 23,加藤 春樹(藤女子大学人間生活学部) | 55,立石 宏昭(広島国際大学) |
| 24,川上 富雄(川崎医療福祉大学医療福祉学部) | 56,建守 善之(東京医療秘書福祉専門学校) |
| 25,川延 宗之(大妻女子大学) | 57,田中 千枝子(日本福祉大学社会福祉学部保健福祉学科) |
| 26,鬼崎 信好(福岡県立大学) | 58,田中 秀和(新潟医療福祉大学大学院医療福祉学研究科) |
| 27,木林 友里夏(吉備国際大学大学院社会福祉学研究科) | 59,田畑 洋一(鹿児島国際大学) |
| 28,久能 由弥(北星学園大学社会福祉学部福祉臨床学科) | 60,土屋 晶(日本福祉大学社会福祉実習教育研究センター) |
| 29,黒木 保博(同志社大学社会学部) | 61,長崎 和則(川崎医療福祉大学医療福祉学部医療福祉学科) |
| 30,黒田 研二(大阪府立大学人間福祉学部) | 62,中里 操夫(西南学院大学) |
| 31,郷地 二三子(第一福祉大学) | 63,中谷 陽明(日本女子大学人間社会学部社会福祉学科) |
| 32,小森 敦(日本社会福祉士養成校協会) | 64,中村 和彦(浅井学園大学人間福祉学部) |

- | | |
|------------------------------------|---------------------------------|
| 65, 名和田 澄子(第一福祉大学) | 81, 宮田 和明(日本福祉大学) |
| 66, 南宮 祥子((社)日本社会福祉教育学校連盟) | 82, 明星 智美(日本福祉大学社会福祉実習教育研究センター) |
| 67, 錦織 毅夫(吉備国際大学大学院社会福祉学研究所) | 83, 守本 友美(広島国際大学医療福祉学部医療福祉学科) |
| 68, 野村 豊子(岩手県立大学社会福祉学部) | 84, 矢幅 清司(国立教育政策研究所教育課程研究センター) |
| 69, 花澤 佳代(北海道医療大学看護福祉学部) | 85, 山上 賢一(皇學館大学社会福祉学部) |
| 70, 平賀 紀章(学校法人横浜 YMCA YMCA 福祉専門学校) | 86, 山下 隆二(皇學館大学社会福祉学部) |
| 71, 平野 華織(日本福祉大学社会福祉実習教育研究センター) | 87, 山中 京子(大阪府立大学人間福祉学部社会福祉学科) |
| 72, 笛本 俊一(日本福祉大学社会福祉学部社会福祉学科) | 88, 山辺 朗子(龍谷大学) |
| 73, 福山 和女(ルーテル学院大学) | 89, 行岡 豊晃(皇學館大学社会福祉学部) |
| 74, 古川 孝順(東洋大学) | 90, 横山 豊治(新潟医療福祉大学社会福祉学部) |
| 75, 前田 美也子(武庫川女子大学文学部心理・社会福祉学科) | 91, 横山 奈緒枝(吉備国際大学) |
| 76, 牧野 忠康(日本福祉大学社会福祉学部) | 92, 横山 裕(九州保健福祉大学) |
| 77, 増山 道康(青森県立保健大学健康科学部社会福祉学科) | 93, 米本 秀仁(北星学園大学社会福祉学部) |
| 78, 松原 浩一郎(吉備国際大学社会福祉学部) | 94, 綿 祐二(文京学院大学人間学部人間福祉学科) |
| 79, 宮城 孝(法政大学現代社会福祉学部) | 95, 渡邊 洋子(大妻女子大学人間関係学部人間福祉学科) |
| 80, 宮島 敏(日本体育大学) | |

第2回(2006年度)日本社会福祉教育学会全国大会 (第一報)

期日： 2006年11月3日(金・祝)～4日(土)

会場： 同志社大学寒梅館 (京都市上京区烏丸今出川・市営地下鉄今出川1分)

テーマ： 「社会福祉の教育から学びへ

—社会福祉援助技術教育方法論の構築を展望して— (仮)

主なプログラム：

11月3日(金) 13:00～18:00 基調報告、シンポジウム、総会

11月4日(土) 10:00～12:00 自由演題報告

※大会プログラム、自由演題報告の募集等は、詳細が決まり次第ご案内いたします。

参加費： 5,000円(非会員6,000円) 院生・学生 3,000円

11月4日(土)～5日(日)には、同じく同志社大学寒梅館において、社会福祉教育セミナー(日本社会福祉教育学校連盟・日本社会福祉士養成校協会・日本精神保健福祉士養成校協会共催)が開催されます。セミナー参加と併せて、お問い合わせの上ご参加下さい。

- 理事会報告にもありますように、次号以降の広報紙はEメール・学会ホームページでお届けします。ご理解を賜りますようお願い申し上げます。なお、入会申込時にEメールアドレスをお知らせ頂いていない方は、至急Eメールにて事務局にお知らせ下さい。また、Eメール・インターネットを使用されない会員には別途配慮いたしますので事務局までお知らせ下さい。
- 機関誌(学会研究紀要)も今年度から発行いたします。編集・投稿規定等が決まりましたらお知らせします。
- 第2回大会(11/4)での自由演題報告お待ちしております。詳細が決まりましたらお知らせします。
- 学会ホームページができました。当面は簡単なお知らせのみですが、徐々に内容も充実して参りたいと思います。入会申込書もダウンロードできます。推薦人は不要ですので、同僚の先生などにぜひ入会をお勧め下さい。

<http://www.n-fukushi.ac.jp/jissyu/jsswe/news.htm>

- 4月10日付で会費請求をさせていただきます。(入会金1,000円 年会費6,000円)

- 日本社会福祉教育学会事務局

〒470-3295 愛知県知多郡美浜町奥田 日本福祉大学社会福祉実習教育研究センター一気付

TEL 0569-87-2971 FAX 0569-87-2340 E-mail jsswe@ml.n-fukushi.ac.jp